



Cool head but Warm heart

高木の一筆



討議資料
第7号 2023年8月

衆議院議員

たかぎ ひろひさ
高木宏壽

日々の活動は SNS やホームページにて配信中！！

公式 HP <https://hirohisa-takagi.jp/>
Instagram https://instagram.com/takagi_hirohisa
Facebook <https://www.facebook.com/takagi.hirohisa>
Twitter https://mobile.twitter.com/takagi_hirohisa



ごあいさつ

過日、78 回目の終戦記念日を迎えました。先の大戦で犠牲となられた方々に対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

現在、日本が置かれている環境を見てみると、ロシアによるウクライナ侵攻に加え、中国の軍事力の強化と一方的に現状変更を試みる動き、北朝鮮のミサイル発射と核兵器開発など、我が国を取り巻く安全保障環境は一段と厳しさを増しています。周辺国との連携や外交努力はもちろんですが、必要な防衛力の強化と整備、そしてその基盤となる経済力を確保する必要があります。

さて、岸田政権が発足して2年が経過しました。その間、防衛力の抜本的強化に向けた防衛費の確保、安定的で安価なエネルギー確保のための原発再稼働、経済成長に向けたスタートアップ支援や労働市場改革、下請法の徹底による価格転嫁対策、インバウンド振興、約1万条項の法律や省令の改正を盛り込んだアナログ規制改革など、様々な難しい課題に正面から向き合い政策に取り組んできています。内閣府が発表した2023年4月から6月までの3カ月間のGDP（国内総生産）速報値では、年率換算の実質GDP成長率が6.0%と景気も上向き傾向にあり、腰折れしないようしっかり下支えして、内需拡大に向けた施策を強力に推進してまいります。

政策の効果が出てくるにはどうしても時間差があり、実際の変化はまだ始まったばかりです。国民の皆さまが効果を実感し、日々の生活が実感を持って豊かになっていく希望が持てるよう、引き続き、国内外の政策課題に全力で取り組んでまいります。



衆議院議員 高木宏壽事務所

〒062-0020

北海道札幌市豊平区月寒中央通 5-1-12

TEL : 011-852-4764

FAX : 011-852-0221

e-Mail : hiro.takagi@tune.ocn.ne.jp

来年度予算の概算要求へ向けて

●JAグループ北海道

国会は閉会中ですが、来年度予算の概算要求に向けて、要請活動が活発化しており、地元北海道から酷暑の東京へ多くの方々がお越しになっています。

JAグループ北海道の皆さまから、食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立に関して要望書を受取り、意見交換させていただきました。



●北海道商工会議所連合会

北海道商工会議所連合会の皆さまと意見交換させていただきました。

物価高騰対策・人手不足など喫緊の課題解決は勿論ですが、中長期的な視点から、未来の北海道をどうデザインするか、皆さまからの声をしっかり聞いて、議論をして、必要なリソースを確保出来るよう全力で取り組んでまいります。



●北海道建設業協会

北海道建設業協会の皆さまと意見交換させていただきました。公共事業予算の確保、防災・減災、国土強靱化について、建設資材等の高騰における対応などについてご要望いただきました。



●北海道議会議員水道事業維持・向上協議会、他

北海道議会議員水道事業維持・向上協議会、文教委員会、建設委員会、環境生活委員会の皆さまからそれぞれ要望書をいただきました。予算編成に向けて北海道議会の先生をはじめ、北海道庁や与党国会議員と連携してオール北海道で、国への働きかけをしっかりと粘り強く行ってまいります。



厚生労働委員会委員派遣（7/26～7/27 長崎県視察）

●長崎大学病院 感染症医療人育成センター

新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、我が国には感染症を専門とする医療従事者不足と人材育成の必要性和重要性が改めて認識されました。

感染症医療人育成センターでは、「地域医療機関における感染症人材育成事業」を展開しており、医療人材育成強化に向けた感染症専門研修プログラムについてご説明いただき、各施設内を視察後に様々な新しい取り組みについて議論しました。



●長崎原爆資料館・国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館

日本は核兵器の被害を受けた唯一の国であり、その経験から核兵器廃絶と平和への献身を貫く国として、国際社会での積極的な役割を果たす責任があります。核兵器のない未来の実現に向け、国内外での平和への取り組みを一層強化していく覚悟です。

被爆者の思いを次世代に継承し、長崎が最後の被爆地となるよう平和への願いを受け継ぎ、核兵器のない未来を築くために共に努力してまいります。



●長崎大学 高度感染症研究センター

高い安全性が確保されたBSL-4実験施設を整備し、感染症の研究やワクチンの開発や治療法の確立を目的として設置されました。新興感染症に打ち勝つため、バイオリスク管理を担う次世代の人材育成について意見交換しました。



●独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター

長崎医療センターは、我が国における高度総合医療センターのひとつであり、がん・生育医療・てんかんの脳疾患などの専門医療をおこなっています。また、ヘリコプター運用施設を併設した高度救命救急センターを有しています。

離島が多く、複雑な地形を有する長崎県の中央部に位置しており、重篤な疾患を有する患者さんをドクターヘリや自衛隊ヘリ等で搬送して適切な医療を提供することで、遠隔地に住む方々が安心して生活出来るよう貢献しています。公衆衛生及び離島医療の実情について意見交換しました。



衆議院議員 高木ひろひさプロフィール

自由民主党札幌市支部連合会会長・自由民主党北海道第三選挙区支部長

札幌生まれ、札幌育ち

- 昭和35（1960）年4月9日札幌市生まれ
- 北海道札幌月寒高等学校卒業
- 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
- 米国ウエスタンワシントン大学MBA取得
- 北海道拓殖銀行ロサンゼルス支店等に勤務
- 北海道警察初の国際捜査官として勤務
- 朝日監査法人にて、米国公認会計士としてリスクコンサルティング業務に従事

北海道議会議員から国政へ

- 平成19（2007）年北海道議会議員に初当選
- 平成24（2012）年衆議院議員に初当選
- 平成27（2015）年内閣府大臣政務官 兼 復興大臣政務官に就任
- 令和05（2023）年現在 衆議院議員3期目、厚生労働委員会理事、党生活安全関係団体委員長、党内閣第一部長代理、党金融調査会副幹事長、党北海道総合開発特別委員会事務局次長
- 趣味 ジャズピアノ演奏、音楽鑑賞、読書、ゴルフ
- 好きな食べ物 ラーメン・そば等の麺類、イタリアン

